

# 2019年度 卒業時アンケート集計結果

## 文学部

「卒業時アンケート」実施に際し、各学科のご協力をたまり、誠にありがとうございました。集計結果をご報告いたします。

このアンケートでは、卒業予定者を対象に、大学、学部、学科、それぞれの学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)について、「身についたと思いますか」という意識調査をしております。同時に、「日本女子大学で学んで良かったと思いますか?」、「学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか?」という質問をいたしました。

なお、大学、学部、学科のディプロマ・ポリシーにつきましては、その回答の平均値を経年比較しております。文言の変更がある項目については、内容の似ているものはそのまま比較を行っておりますが、新規のDPIについては、比較から外している項目もあります。また、内容に変更・結合・分離等がある項目のうち、比較が可能と判断した項目については、注釈を付して集計いたしました。自由記述箇所につきましては、学生の記載原文を記載しております。(注:2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」を選択肢としていました。)

本件につきまして、ご意見、ご質問がございましたら、大学改革推進室IR推進室までお願いいたします。

### ※集計結果の公表について

・集計結果は、以下の大学改革推進室HPにて閲覧いただけます(ただし、専任教職員のみ学内で閲覧可)。

### ※学生へのフィードバックについて

・対象学生が結果を閲覧できるのは、JASMINE-Navilにアクセス可能な「3月20日」までとなります。

・対象学生は、自身の所属学部の集計結果(PDF)を閲覧することができます。

### 目次

1. 文学部 (全体)	2
2. 文学部 日本文学科	4
3. 文学部 英文学科	6
4. 文学部 史学科	8

### <2019年度回答率>

学部	学科	専攻	2019年5月1日 4年次在籍者数	回答数	回答率
家政	児童		101	93	92.1%
	食物	食物学	33	32	97.0%
		管理栄養士	48	47	97.9%
	住居	居住環境デザイン	61	52	85.2%
		建築デザイン	41	32	78.0%
	被服		102	85	83.3%
	家政経済		91	83	91.2%
計		477	424	88.9%	
文	日本文		133	114	85.7%
	英文		192	155	80.7%
	史		100	73	73.0%
	計		425	342	80.5%
人間社会	現代社会		96	90	93.8%
	社会福祉		109	70	64.2%
	教育		100	90	90.0%
	心理		87	77	88.5%
	文化		141	87	61.7%
	計		533	414	77.7%
理	数物科		87	69	79.3%
	物質生物科		100	89	89.0%
	計		187	158	84.5%
学部合計 (通学課程全体)			1,622	1,338	82.5%

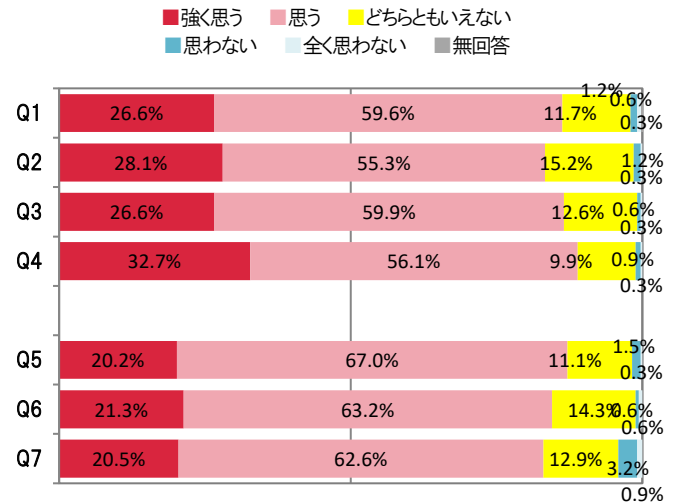
# 1. 文学部 (全体)

(回収率:80.5%)

＜身についたと思いますか＞

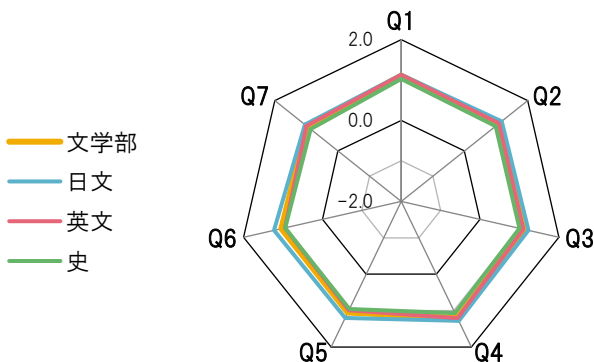
◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
◆ 文学部の学位授与方針(DP)	
Q5	健全な批評精神を持ち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。
Q6	専門的知識に裏付けられた調査力・考察力を持って問題を深く追究することができる。
Q7	十分なコミュニケーション能力と発表力を持って、他者と問題・関心を共有することができる。

2019年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7
強く思う	91	96	91	112	69	73	70
思う	204	189	205	192	229	216	214
どちらともいえない	40	52	43	34	38	49	44
思わない	4	4	2	3	5	2	11
全く思わない	2	1	1	1	1	2	3
無回答	1	0	0	0	0	0	0



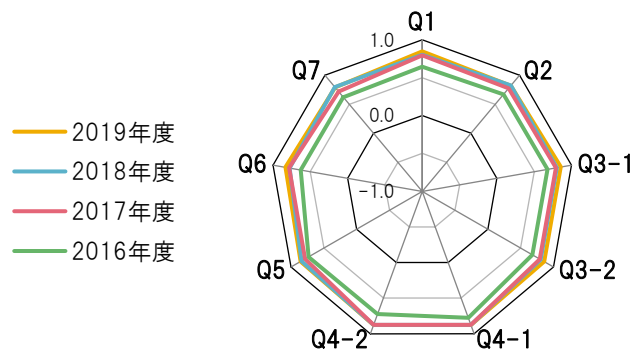
2019年度文学部平均

※「強く思う」を2点、「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」を-1点、「全く思わない」を-2点とした平均値（「無回答」は集計から除外）



2016～2019年度文学部平均

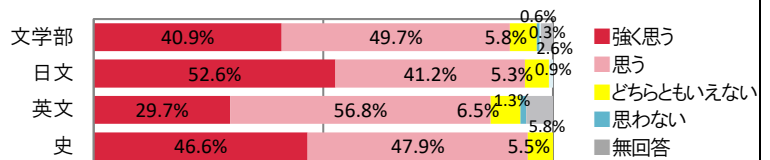
※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値（「無回答」は集計から除外）  
※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



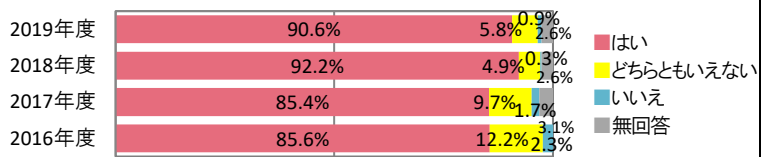
グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。	Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。	Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3-1	専門的知識と教養教育をバランスよく学び、豊かな知性と感性を身につける。	Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q3-2	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。	Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4-1	他者に対する共感の気持ちをもつことができる。	Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
Q4-2	まわりの人びとと円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。	Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
Q5	健全な批評精神をもち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。	Q5	健全な批評精神を持ち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。
Q6	専門的知識に裏付けられた調査力・考察力をもって問題を深く追究することができる。	Q6	専門的知識に裏付けられた調査力・考察力を持って問題を深く追究することができる。
Q7	十分なコミュニケーション能力と発表力をもって、他者と問題・関心を共有することができる。	Q7	十分なコミュニケーション能力と発表力を持って、他者と問題・関心を共有することができる。

◇日本女子大学で学んで良かったと思いますか？（2013年度から調査している項目）

2019年度	文学部	日文	英文	史
強く思う	140	60	46	34
思う	170	47	88	35
どちらともいえない	20	6	10	4
思わない	2	0	2	0
全く思わない	1	1	0	0
無回答	9	0	9	0



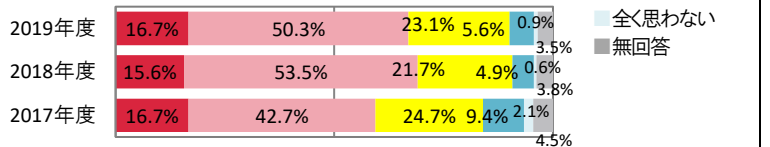
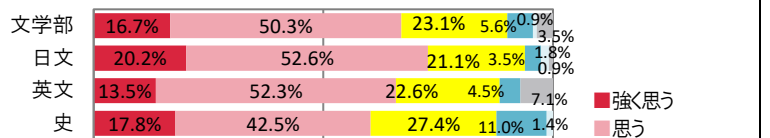
文学部	年度	2019	2018	2017	2016
はい	強く思う	140	136	95	302
	思う	170	183	151	
どちらともいえない	どちらともいえない	20	17	28	43
	思わない	2	1	3	8
いいえ	全く思わない	1	0	2	
	無回答	9	9	9	0



※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

◇学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？（2017年度からの調査項目）

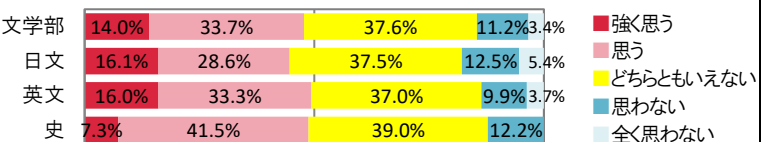
2019年度	文学部	日文	英文	史
強く思う	57	23	21	13
思う	172	60	81	31
どちらともいえない	79	24	35	20
思わない	19	4	7	8
全く思わない	3	2	0	1
無回答	12	1	11	0



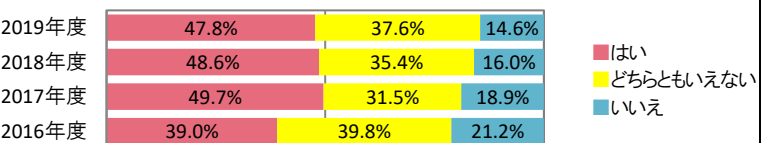
※文学部コース制修了者のみ回答 ※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

★文学部コース制は就職や資格取得等に役立ったと思う。

2019年度	文学部	日文	英文	史
強く思う	25	9	13	3
思う	60	16	27	17
どちらともいえない	67	21	30	16
思わない	20	7	8	5
全く思わない	6	3	3	0

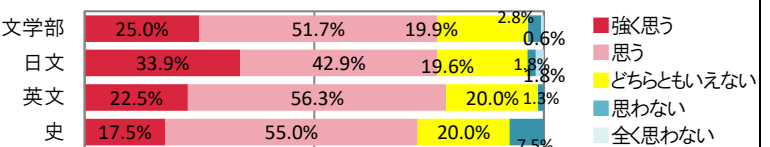


文学部	年度	2019	2018	2017	2016
はい	強く思う	25	18	26	92
	思う	60	67	45	
どちらともいえない	どちらともいえない	67	62	45	94
	思わない	20	21	16	50
いいえ	全く思わない	6	7	11	
	無回答	164	171	145	117

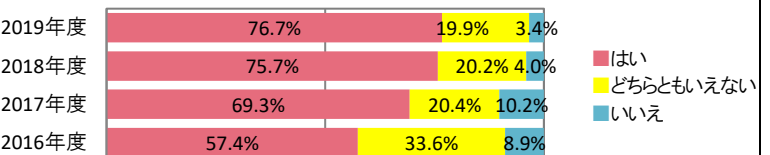


★文学部コース制は学問的知識の向上に役立つ等、履修してよかったと思う。

2019年度	文学部	日文	英文	史
強く思う	44	19	18	7
思う	91	24	45	22
どちらともいえない	35	11	16	8
思わない	5	1	1	3
全く思わない	1	1	0	0



文学部	年度	2019	2018	2017	2016
はい	強く思う	44	35	31	135
	思う	91	96	64	
どちらともいえない	どちらともいえない	35	35	28	79
	思わない	5	4	7	21
いいえ	全く思わない	1	3	7	
	無回答	166	173	151	118



## 2. 文学部 日本文学科

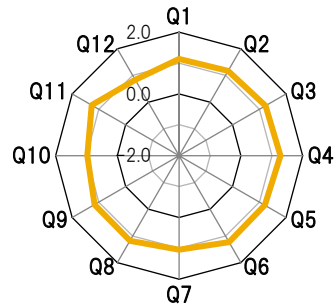
(回収率:85.7%)

### <身についたと思いますか>

<b>◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)</b>	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
<b>◆ 文学部の学位授与方針(DP)</b>	
Q5	健全な批評精神を持ち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。
Q6	専門的知識に裏付けられた調査力・考察力を持って問題を深く追究することができる。
Q7	十分なコミュニケーション能力と発表力を持って、他者と問題・関心を共有することができる。
<b>◆ 日本文学科の学位授与方針(DP)</b>	
Q8	専門的知識とその理解により培われた知性と感性によって、自ら新たな課題を発見し、その解決に努めることができる。
Q9	健全な批評精神と学問的追究心を失わず、ものごとを客観的・論理的に判断することができる。
Q10	専門的知識と教養力を、本学の建学の精神と結び付け、国際社会の一員として、適切な判断をすることができる。
Q11	日本文学科出身であることに誇りと責任を持ち、自立した人生を切り拓いていくことができる。
Q12	専門的知識に裏付けられた調査力・思索力、コミュニケーション力、プレゼンテーション能力を生かして国際社会に貢献することができる。

### 2019年度日本文学科平均

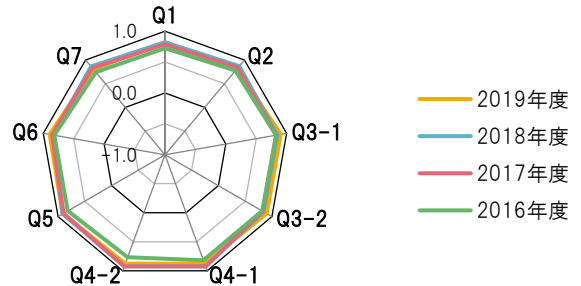
※「強く思う」を2点、「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」を-1点、「全く思わない」を-2点とした平均値（「無回答」は集計から除外）



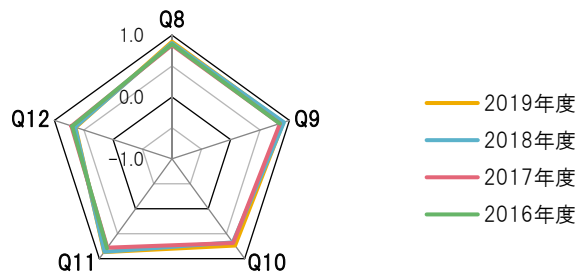
※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値（「無回答」は集計から除外）

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

### 日本女子大学DP(1~4)・文学部DP(5~7)

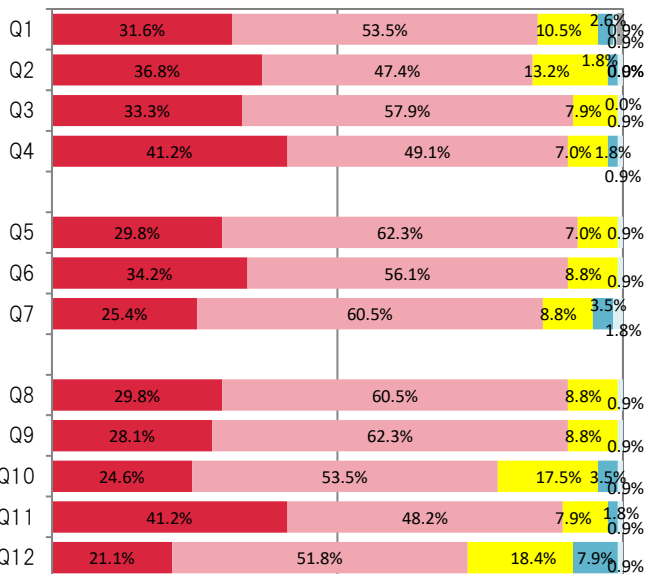


### 日本文学科DP(8~12)



2019年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
強く思う	36	42	38	47	34	39	29	34	32	28	47	24
思う	61	54	66	56	71	64	69	69	71	61	55	59
どちらともいえない	12	15	9	8	8	10	10	10	10	20	9	21
思わない	3	2	0	2	0	0	4	0	0	4	2	9
全く思わない	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■ 強く思う ■ 思う ■ どちらともいえない  
■ 思わない ■ 全く思わない ■ 無回答



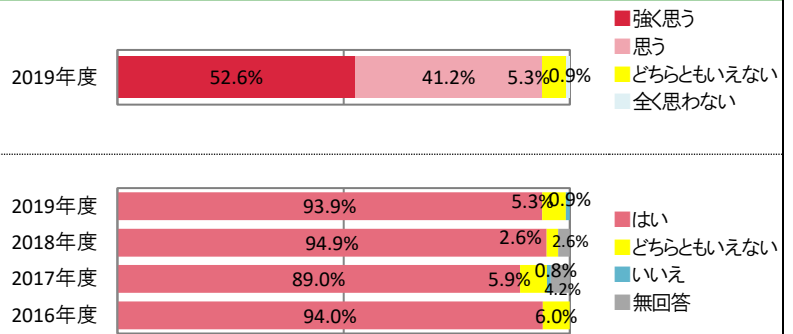
グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q8	専門的知識とその理解により培われた知性と感性によって、自ら新たな課題を発見し、その解決に努めることができる。	Q8	専門的知識とその理解により培われた知性と感性によって、自ら新たな課題を発見し、その解決に努めることができる。
Q9	健全な批評精神と学問的追究心を失わず、ものごとを客観的・論理的に判断することができる。	Q9	健全な批評精神と学問的追究心を失わず、ものごとを客観的・論理的に判断することができる。
Q10	専門的知識と教養力を、本学の建学の精神と結び付け、国際社会の一員として、適切な判断をすることができる。	Q10	専門的知識と教養力を、本学の建学の精神と結び付け、国際社会の一員として、適切な判断をすることができる。
Q11	日本文学科出身であることに誇りと責任を持ち、自らの人生を切り拓いていくことができる。	Q11	日本文学科出身であることに誇りと責任を持ち、自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q12	専門的知識に裏付けられた調査力・思索力、コミュニケーション力、プレゼンテーション能力を生かして社会に貢献することができる。	Q12	専門的知識に裏付けられた調査力・思索力、コミュニケーション力、プレゼンテーション能力を生かして国際社会に貢献することができる。



◇ 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

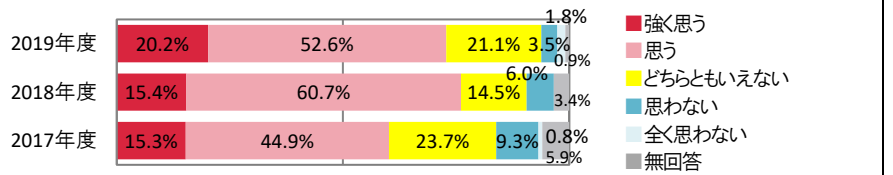
日文	年度	2019	2018	2017	2016
はい	強く思う	60	56	49	109
	思う	47	55	56	
どちらともいえない	どちらともいえない	6	3	7	7
	思わない	0	0	0	
いいえ	全く思わない	1	0	1	0
	無回答	0	3	5	

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



◇ 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

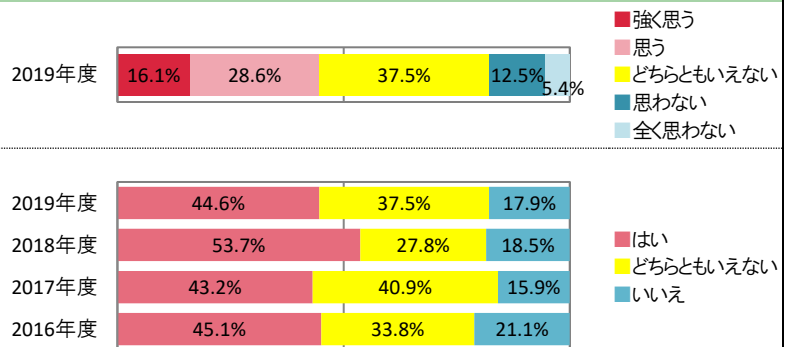
日文	2019年度	2018	2017
強く思う	23	18	18
思う	60	71	53
どちらともいえない	24	17	28
思わない	4	7	11
全く思わない	2	0	1
無回答	1	4	7



※文学部コース制修了者のみ回答 ※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

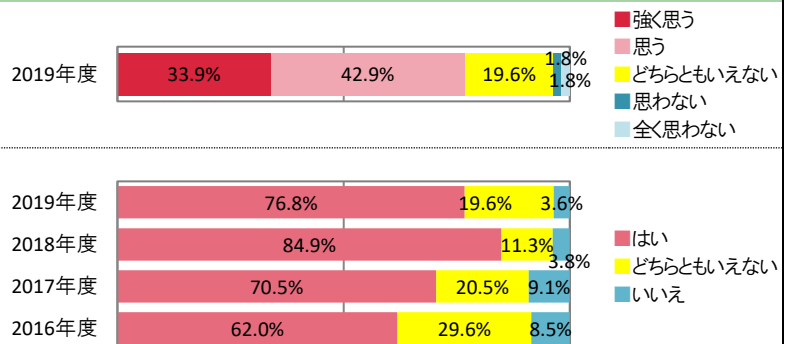
★文学部コース制は就職や資格取得等に役立ったと思う。

日文	年度	2019	2018	2017	2016
はい	強く思う	9	7	6	32
	思う	16	22	13	
どちらともいえない	どちらともいえない	21	15	18	24
	思わない	7	8	5	
いいえ	全く思わない	3	2	2	15
	無回答	0	0	0	



★文学部コース制は学問的知識の向上に役立つ等、履修してよかったと思う。

日文	年度	2019	2018	2017	2016
はい	強く思う	19	16	10	44
	思う	24	29	21	
どちらともいえない	どちらともいえない	11	6	9	21
	思わない	1	1	2	
いいえ	全く思わない	1	1	2	6
	無回答	0	0	0	



### 3. 文学部 英文学科

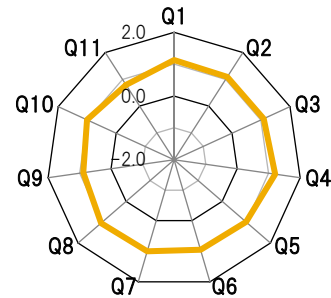
(回収率:80.7%)

＜身についたと思いますか＞

<b>◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)</b>	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
<b>◆ 文学部の学位授与方針(DP)</b>	
Q5	健全な批評精神を持ち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。
Q6	専門的知識に裏付けられた調査力・考察力を持って問題を深く追究することができる。
Q7	十分なコミュニケーション能力と発表力を持って、他者と問題・関心を共有することができる。
<b>◆ 英文学科の学位授与方針(DP)</b>	
Q8	英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化、社会についての十分な専門的知識と教養教育で培われた知性により、自己と世界を広い視野から相対的・複眼的に捉えることができる。
Q9	専門的知識と教養力を、本学の建学の精神と結びつけることにより、国際社会の一員として自立した生き方を切り拓いていくことができる。
Q10	英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化、社会への関心を深め、世界をとりまく諸問題に健全な批評精神を持って向き合い、更に発信する意欲と自覚を身に付けている。
Q11	英語運用能力の基礎である「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」に習熟し、英語による正確で円滑なコミュニケーション力とプレゼンテーション力、文章表現力を身に付けている。

**2019年度英文学科平均**

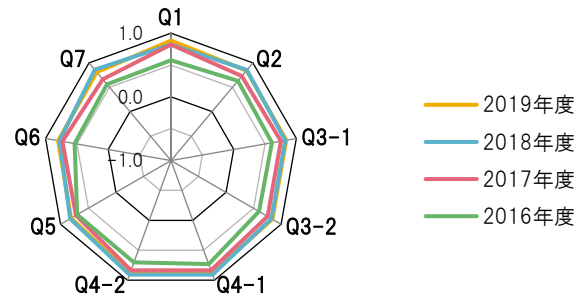
※「強く思う」を2点、「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」を-1点、「全く思わない」を-2点とした平均値（「無回答」は集計から除外）



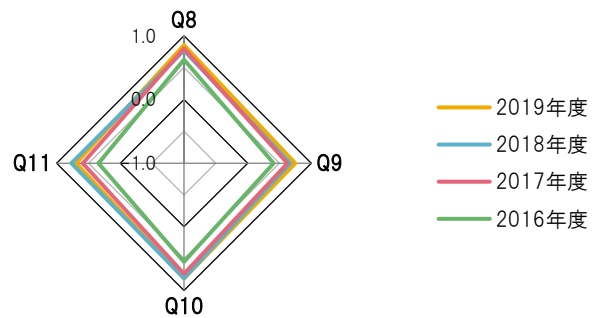
※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値（「無回答」は集計から除外）

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

**日本女子大学DP(1~4)・文学部DP(5~7)**



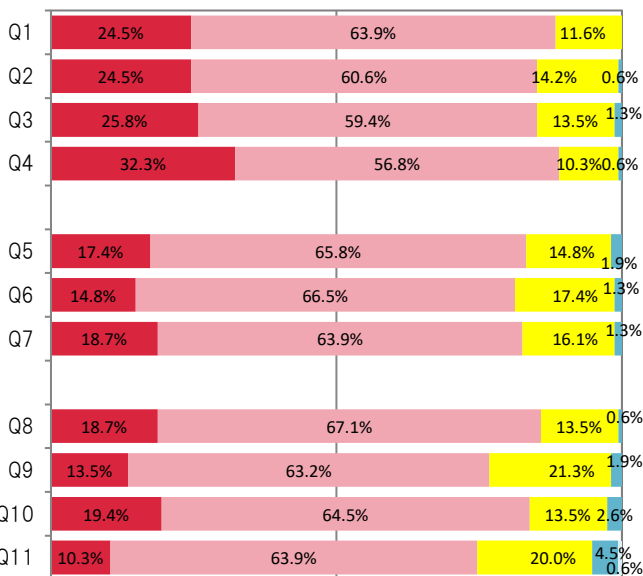
**英文学科DP(8~11)**



(人)

2019年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
強く思う	38	38	40	50	27	23	29	29	21	30	16
思う	99	94	92	88	102	103	99	104	98	100	99
どちらともいえない	18	22	21	16	23	27	25	21	33	21	31
思わない	0	1	2	1	3	2	2	1	3	4	7
全く思わない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

■ 強く思う    ■ 思う    ■ どちらともいえない  
■ 思わない    ■ 全く思わない    ■ 無回答

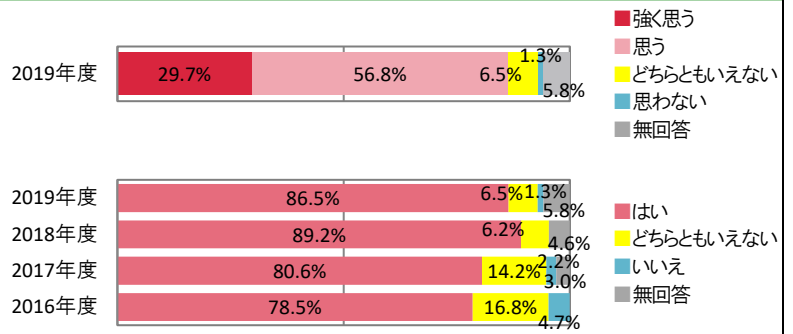


グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q8	英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化、社会についての十分な専門的知識と教養教育で培われた知性により、自己と世界を広い視野から相対的・複眼的に捉えることができる。	Q8	英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化、社会についての十分な専門的知識と教養教育で培われた知性により、自己と世界を広い視野から相対的・複眼的に捉えることができる。
Q9	専門的知識と教養力を、本学の建学の精神と結びつけることにより、国際社会の一員として自立した生き方を切り拓いていくことができる。	Q9	専門的知識と教養力を、本学の建学の精神と結びつけることにより、国際社会の一員として自立した生き方を切り拓いていくことができる。
Q10	英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化、社会への関心を深め、世界をとりまく諸問題に健全な批評精神を持って向き合い、更に発信する意欲と自覚を身に付けている。	Q10	英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化、社会への関心を深め、世界をとりまく諸問題に健全な批評精神を持って向き合い、更に発信する意欲と自覚を身に付けている。
Q11	英語運用能力の基礎である「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」に習熟し、英語による正確で円滑なコミュニケーション力と文章表現力を身に付けている。	Q11	英語運用能力の基礎である「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」に習熟し、英語による正確で円滑なコミュニケーション力と文章表現力を身に付けている。

◇ 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

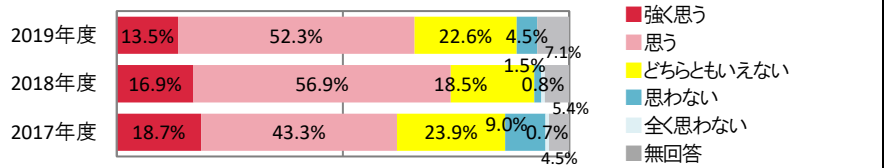
英文	年度	2019	2018	2017	2016
はい	強く思う	46	44	33	117
	思う	88	72	75	
どちらともいえない	どちらともいえない	10	8	19	25
	思わない	2	0	2	7
いいえ	全く思わない	0	0	1	
	無回答	9	6	4	0

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



◇ 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

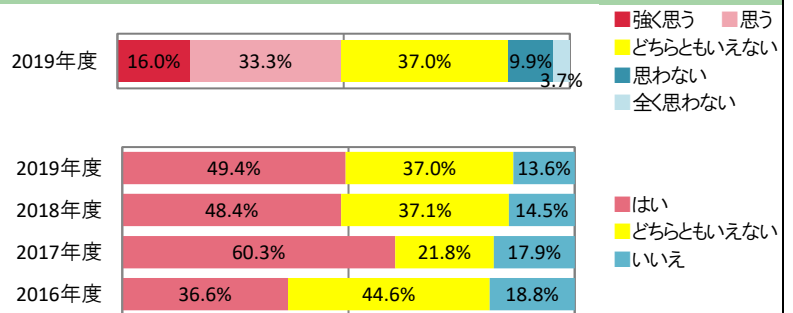
英文	2019年度	2018	2017
強く思う	21	22	25
思う	81	74	58
どちらともいえない	35	24	32
思わない	7	2	12
全く思わない	0	1	1
無回答	11	7	6



※文学部コース制修了者のみ回答 ※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

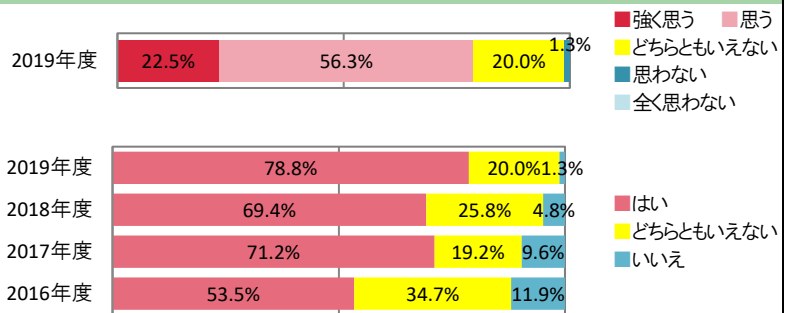
★文学部コース制は就職や資格取得等に役立ったと思う。

英文	年度	2019	2018	2017	2016
はい	強く思う	13	4	16	37
	思う	27	26	31	
どちらともいえない	どちらともいえない	30	23	17	45
	思わない	8	7	9	19
いいえ	全く思わない	3	2	5	



★文学部コース制は学問的知識の向上に役立つ等、履修してよかったと思う。

英文	年度	2019	2018	2017	2016
はい	強く思う	18	8	15	54
	思う	45	35	37	
どちらともいえない	どちらともいえない	16	16	14	35
	思わない	1	1	3	12
いいえ	全く思わない	0	2	4	



### 4. 文学部 史学科

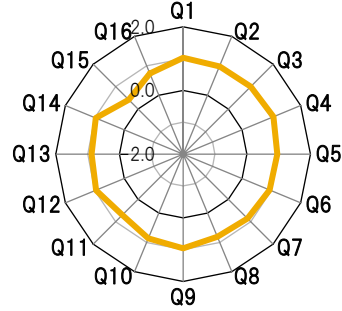
(回収率: 73.0%)

#### <身についたと思いますか>

◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
◆ 文学部の学位授与方針(DP)	
Q5	健全な批評精神を持ち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。
Q6	専門的知識に裏付けられた調査力・考察力を持って問題を深く追究することができる。
Q7	十分なコミュニケーション能力と発表力を持って、他者と問題・関心を共有することができる。
◆ 史学科の学位授与方針(DP)	
Q8	人間の営みの集積である歴史に対して、均衡のとれた幅広い知識を修得している。
Q9	異文化について深い知識・理解を持ち、自らの属する文化を客観的に理解できる。
Q10	健全な批評精神に基づき、歴史を客観的、論理的に認識できる。
Q11	専門的知識と教養を本学の建学の精神と結びつけ、時代に即した思考・判断力を持ち、国際社会の一員として自立した生き方を切り拓いていくことができる。
Q12	現代世界の諸事象について、先入観に囚われず、その歴史的背景に照らして客観的に理解することができる。
Q13	多様な史資料の探索と読解に主体的に取り組むことができる。
Q14	氾濫する情報に惑わされず、広い視野から客観的に分析できる。
Q15	英語に加え第三の言語の基本を身に付け、文化的背景の理解に基づいた運用ができる。
Q16	獲得した知見を的確に表現し、他者の意見を理解し議論するに十分なコミュニケーション力を有する。

#### 2019年度史学科平均

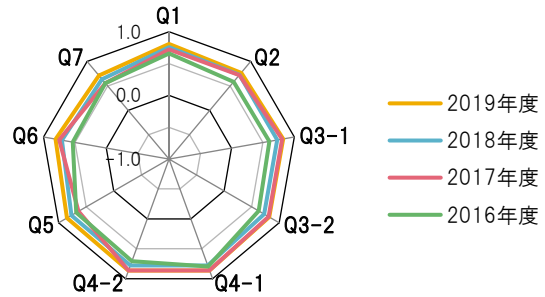
※「強く思う」を2点、「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」を-1点、「全く思わない」を-2点とした平均値（「無回答」は集計から除外）



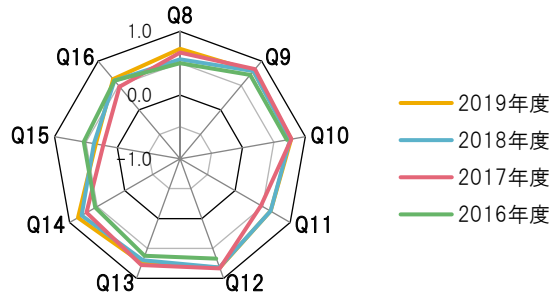
※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値（「無回答」は集計から除外）

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

日本女子大学DP(1~4)・文学部DP(5~7)

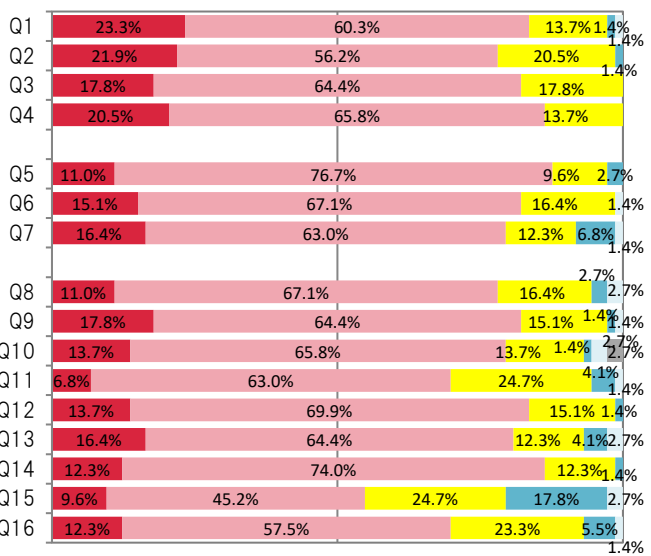


#### 史学科DP(8~16)



2019年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16
強く思う	17	16	13	15	8	11	12	8	13	10	5	10	12	9	7	9
思う	44	41	47	48	56	49	46	49	47	48	46	51	47	54	33	42
どちらともいえない	10	15	13	10	7	12	9	12	11	10	18	11	9	9	18	17
思わない	1	1	0	0	2	0	5	2	1	1	3	1	3	1	13	4
全く思わない	1	0	0	0	0	1	1	2	1	2	1	0	2	0	2	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0

■ 強く思う ■ 思う ■ どちらともいえない ■ 思わない ■ 全く思わない



グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q8	人間の営みの集積である歴史に対して、均衡のとれた幅広い知識を修得している。	Q8	人間の営みの集積である歴史に対して、均衡のとれた幅広い知識を修得している。
Q9	異文化に対する深い知識を持ち、自らの属する文化を客観的に理解できる。	Q9	異文化について深い知識・理解を持ち、自らの属する文化を客観的に理解できる。
Q10	健全な批評精神に基づき、歴史を客観的、論理的に認識することができる。	Q10	健全な批評精神に基づき、歴史を客観的、論理的に認識できる。
Q11	史料や資料を体系的に読解することができる。	Q11	専門的知識と教養を本学の建学の精神と結びつけ、時代に即した思考・判断力を持ち、国際社会の一員として自立した生き方を切り拓いていくことができる。
Q12	現代世界の諸事象を、その歴史的背景に照らして理解することができる。	Q12	現代世界の諸事象について、先入観に囚われず、その歴史的背景に照らして客観的に理解することができる。
Q13	多様な史料や資料の探索と読解に主体的に取り組むことができる。	Q13	多様な史資料の探索と読解に主体的に取り組むことができる。
Q14	氾濫する情報の中から、真実性の高い情報を選び出す能力がある。	Q14	氾濫する情報に惑わされず、広い視野から客観的に分析できる。
Q15	獲得した知見や見解を、自らの言葉で的確に表現することができる。	Q15	英語に加え第三の言語の基本を身に付け、文化的背景の理解に基づいた運用ができる。
Q16	十分なコミュニケーション能力に基づき、他者と問題や関心を共有できる。	Q16	獲得した知見を的確に表現し、他者の意見を理解し議論するに十分なコミュニケーション力を有する。

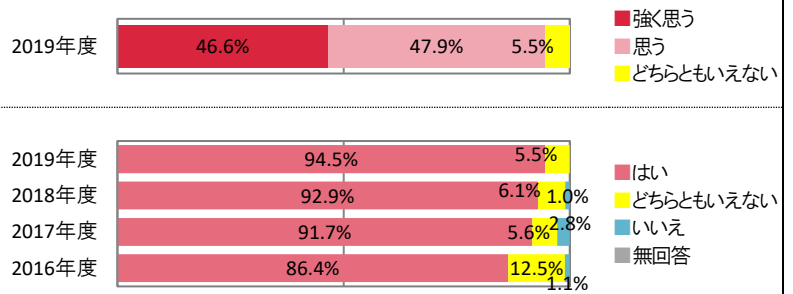
※Q11は内容が異なる項目のためグラフから除外



◇ 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

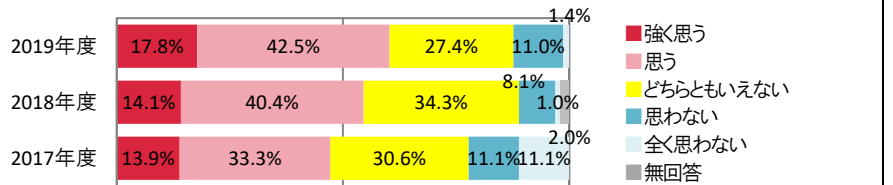
史	年度	2019	2018	2017	2016
はい	強く思う	34	36	13	76
	思う	35	56	20	
どちらともいえない	どちらともいえない	4	6	2	11
	思わない	0	1	1	
いいえ	全く思わない	0	0	0	1
	無回答	0	0	0	

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



◇ 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

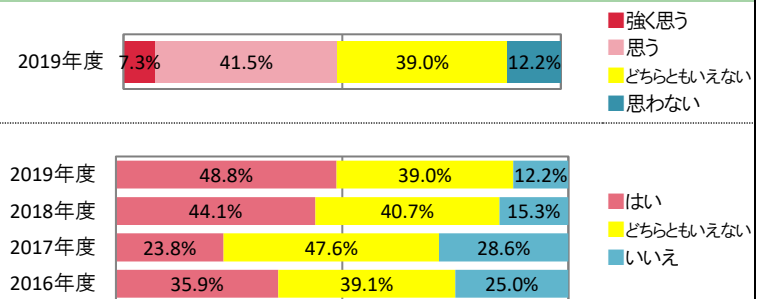
史	2019年度	2018	2017
強く思う	13	14	5
思う	31	40	12
どちらともいえない	20	34	11
思わない	8	8	4
全く思わない	1	1	4
無回答	0	2	0



※文学部コース制修了者のみ回答 ※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

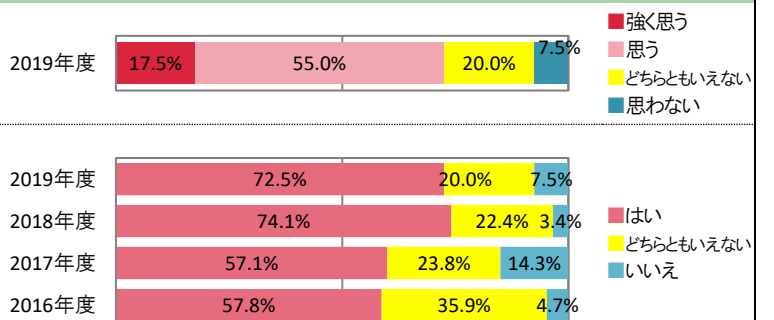
★文学部コース制は就職や資格取得等に役立ったと思う。

史	年度	2019	2018	2017	2016
はい	強く思う	3	7	4	23
	思う	17	19	1	
どちらともいえない	どちらともいえない	16	24	10	25
	思わない	5	6	2	
いいえ	全く思わない	0	3	4	16
	無回答	0	0	0	



★文学部コース制は学問的知識の向上に役立つ等、履修してよかったと思う。

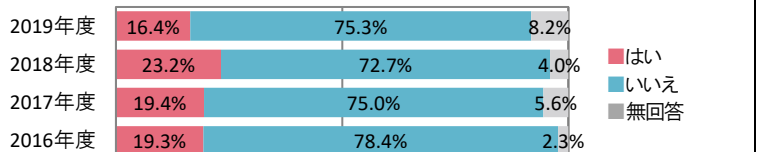
史	年度	2019	2018	2017	2016
はい	強く思う	7	11	6	37
	思う	22	32	6	
どちらともいえない	どちらともいえない	8	13	5	23
	思わない	3	2	2	
いいえ	全く思わない	0	0	1	3
	無回答	0	0	0	



※史学科のみ回答

★在学中に、留学・海外短期研修をしましたか。

史	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
はい	12	23	7	17
いいえ	55	72	27	69
無回答	6	4	2	2



以上<文学部>